



# NEWS RELEASE 関東つくば銀行

平成20年8月29日

## 『子ども参観日』を実施

株式会社関東つくば銀行（頭取 木村 興三、本店土浦市）は、地域密着型金融推進計画の持続可能な地域経済への貢献の一環として、また、次世代育成支援対策推進法に基づき策定した一般事業主行動計画に基づき、保護者の働く職場を実際に見たり、体験する『子ども参観日』を、夏休みに入った8月1日から8月26日迄の期間に本店営業部をはじめ、合計8ヶ店で開催し延べ32名が参加しました。

当行の本支店において、行員の子ども達に保護者の仕事を理解してもらい、また、お金の大切さを学んでもらえればと考えています。また、色々な体験ができ、参加した子ども達からも好評であることから、関東つくば銀行では今後も同様の参観日を開催していきたいと考えています。

### 〈本店営業部における『子ども参観日』の実施例〉

夏休み期間中である8月14日、小学生12名が本店の会議室に集合しました。今日は待ちに待った『子ども参観日』です。

お金についての学習時間では、高額な買い物はどうしたら手に入れられるかを考え、「貯めて買う方法」や「借りて買う方法」を学びました。また銀行の役割についてのビデオ鑑賞、模擬紙幣を使っの札勘体験もしました。本店営業部では、金庫室やATMの裏側を覗いたり、紙幣や硬貨を数える機械、貸金庫を見学しました。一番の目玉は、本店営業部の金庫室内で参加者1人ひとりが1億円を持ってその重さを体感する機会です。1億円を初めて目にした時は「うわあー！」と歓声が上がっていました。

昼食は親子揃って楽しく食事会。その後、通帳の作成や入出金のオペレーション研修を受講、真剣な表情でインストラクターの説明に耳を傾けました。そして実際の端末に触れ、新規通帳作成に挑戦。出来上がった通帳には見たこともないような桁数の大金が記帳されていました。中には、出金の摘要欄に「パパ・ママへのプレゼント」と記帳する子もいました。業務の一部を実際に体感し気持ちはもう銀行員。朝から夕方まで1日かけて銀行業務を体験することができました。一日の見学・体験を終え、最後に一人ひとりに修了証書が手渡され、「また来年も参加したい！」との感想も出ていました。

本店での『子ども参観日』は本年度で4回目です。

### 報道機関のお問合せ先

関東つくば銀行	総合企画部調査広報室	和田	内線378
	人事部人事グループ	植田	内線513
	TEL	029-821-8111	



本店営業部の中を見学中。  
業務で使われる機械の説明を受けているところです。  
興味津々で覗き込んでいます。

金庫の中で、一億円と一緒に記念撮影。  
小さな体で必死に持ち上げていました。  
予想以上に重かったようです。



外国のお金も触らせて貰いました。  
日本のお金とは、デザインも手触りも違っていました。

通帳作りに挑戦。  
初めて見る端末に夢中です。  
この機械で通帳ができるなんて  
なんだか不思議な感じ。



今度は入金のおペレーション中です。  
みんなが自分で作った通帳の中には、  
見たこともないような桁数の大金が  
記帳されていました。

最後に感想を書いてももらいました。  
用紙1枚に納まらないほどたくさん書いて  
くれた子もいました。  
みんな充実した1日を過ごしてくれたよう  
です。

